

工場抵當法案特別委員會議事速記録第四號

明治三十八年二月十七日(金曜日)午前十時一分開會

○委員長(子爵岡部長職君) 唯今ヨリ開會イタシマス、昨日二名ノ小委員ヲ選定シテ本案ノ審査ヲ委託イタシマシタ、所デ昨日充分ニ審査ヲ遂ゲラレテ本日諸君ト共ニ右ノ二君カラ報告ヲ得ルコトニナリマシタ是ヨリ小委員ノ調査ノ結果ノ報告ヲ求メマス

○富井政章君 ソレデハ僭越ナガラ私が協議ノ結果ヲ御報告イタシマス、昨日我々三人ハ御委託ヲ受ケテ夕刻マデ協議ヲイタシマシタガ尙今朝モ本會議ノ後ニ、殘ツタ一件ヲ議シタノデアリマス、各條ニ付テハ協議ノ結果ヲ御報告イタシマス前ニ此法律案全體ニ對スル我々ノ意見ヲ申シマス、我々二人トモ此法律案ハ今日ニ最モ有益ナル施設ト認メマシテ全然贊成ヲ表シタノデアリマス、寧ろ其點ニ於テハ一モ異論ハナカッタ、是ヨリ各條ニ付テ述ベマスガ質問ハ出マシテモ修正ニナラナド條ハ略シテ宜シカラウト思ヒマスガ、ソレデ宜シウゴザイマスカ

○委員長(子爵岡部長職君) 宜シウゴザイマセウ

○富井政章君 第一條ニ付テハ大イニ質問ガ出マシタガ畢竟是デ宜カラウト云フコトニナリマシテ……

○委員長(子爵岡部長職君) チョット富井君ニ御注意シマスガ質問ノ都合ニ依リマシテハ諸君ノ參考ニナリサウナ所ハ特ニ……

○富井政章君 ハイ、第一條ニ關シテ我々が出シマシタ最モ重要ナル質問ハ第一項ノ列記ハ果シテ完全ナモノデアるか、是デ脫漏スルコトハ決シテ無イカト云フ質問デアリマシタ、政府委員殊ニ農商務省ノ當局者ハ責任ヲ以テ遠キ將來ハ知ラズ今日ニ於テハ現行ノ法規ニ照シテモ亦實際ノ情況ニ照シテモ是デ缺點ハ無イト認ムト云フ答辯デアリマシタカラ遂ニ原案ニ満足シタノデアリマス、第二條ニ於テ二ノ修正ヲ加ヘマシタ、第二項ノ「其ノ他ノ物」トアルヲ「其ノ他工場ノ用ニ供スル」ト致シタノデアリマス、其理由ハ原案ノ如クニ「備附ケタル」トアルノミデハ範圍ガ廣過ルデアラウ、例ヘバ遊ヒ道具ナドモ這入ル譯デアリマス、ソレマデニスル必要ハ無カラウ、却ツテ弊害ガ有ルデアラウト云フ趣意デ工場ノ用ノ物ニ限ルト致シタノデアリマス、ソレカラ次ニ「所有ニ屬スルモノ」ノ數字ヲ削リマシタ、是ハ言ハストモ當然ノコトデアルト云フ理由ニ過ギナイノデアル……續ケテ終ヒマデズトヤリマセウカ

○委員長(子爵岡部長職君) ズット願ヒマス

○富井政章君 第三條ニ於テハ第二項目ノ「前條」以下ヲ改メタノデアリマス「其ノ土地又ハ建物ニ備附ケタル機械、器具其ノ他工場ノ用ニ供スル物ニシテ前條ノ規定ニ依リ抵當權ノ目的タルモノ」ノ目錄ヲ提出スヘシト改メマシタ、是ハ少シク實質ヲ修正シナリマス、前條ノ上段ニ規定シテアル附加シテ一體ヲ成スト云フコトヲ除ク主意デアリマス、若シ是等ノモノニ付テマデ一々登記ヲ要スルト甚ダ煩雜ニ過ギルデアラウ、例ヘバ建物ノ建増ヲシタト云フ如キ場合ニモ一々登記ヲ要スルコトニナル譯デアリマスガ、ソレデハ餘リ煩ハシト存ジマシテ斯ク改メタノデアリマス、ソレカラ第四條ニ於キマシテハ但書ト

云フ言葉ノ下ニ「二掲ケタル別段」ト云フ其數字ヲ加ヘタノデアリマス、是ハ唯主意ヲ明瞭ニシタニ過ギマセウ、第五條ハ最モヤカマシイ條文デアリマシテ之ニ付テハ今朝ニ互ツテ尙他ノ委員諸君ノ御意見モ伺フテ假ニ御目ニ掛ケタ如クニ極メタノデアリマス、先ツ第一項ノ修正ハ文字ノ修正ニ過ギマセウ工場ノ所有者カ以下ヲ改メマシテ「第二條ノ規定ニ依リテ其ノ目的タル物カ第三取得者ニ引渡サレル後ト雖其ノ物ニ付テ之ヲ行フコトヲ得」斯ク變ヘマシタ、其所以ハ本條ノ主意ハ人ノ方カラ見ルベキ規定デ無クシテ物ノ方カラ見ルベキ規定デアラウ、條文其モノガ無効トナルニアラズシテ抵當權ノ效力ガ害セラレナイト云フコトヲ規定シタノデアリマス、ソレ故ニドコモデモ物ヲ本體トシテ規定シタ方ガ宜カラウト云フケデアリマス、少シモ原案ノ主意ハ變ラヌノデアリマス、第二項ヲ置キマシタ「前項ノ規定ハ民法第九十二條乃至第九十四條ノ適用ヲ妨ケス」ト致シタノデアリマス、是ハ原文第一項ノ但書ト殆ド同一ノ主意デアリマシテ政府委員ノ説明ニ依レバ原文ニハ單ニ「善意ナリシトキ」トアリマスケレドモ、善意ニシテ且ツ過失ナキト云フ主意デアアルサウデアリマス、果シテ然ラバ直チニ民法第九十二條ヲ引用シタ方ガ至當デアラウ、且第九十三條及第九十四條ノ規定モソレト同時ニ引用スルガ當然デアラウト考ヘマス、ソレデ此二箇條ヲ引クコトニ致シタノデアリマス、此條ニ付テ起リマシタ大問題ハ若シ出來ルコトナラバ本案ノ主意ヲ極メテ例ヘバ第三取得者ガ善意ニシテ過失ナキモノデアッテモ抵當權ノ實行ヲ受ケネバナラヌト云フ方ニスル方ガ宜イノデハナカラウカ、我々ハ皆サウナルヲ希望シタノデアリマス、唯如何セン第三取得者ニ取ッテハ實ニ酷ナ結果トナル譯デアリマス、殊ニ初ノ第三取得者ヨリ借受ケルトカ質ニ取ルトカ致シタ轉得者ニ取ッテハ最モ迷惑ヲ感ズル場合ガ多ウカラウト思ヒマス、ソレ故ニ政府委員トモ段々交渉シテ何か策ガ無カラウカ、施行細則ニ於テ何か方法ヲ設ケテ抵當權ノ效力ヲ完ウスル仕方が無カラウカト云フコトヲ談ジタノデアリマスケレドモ、機械器具等ニ一々焼印ヲ捺スト云フ譯ニモイカヌ、同ジヤウナモノガ澤山アル譯デアリマスカラ、ドウシテモ占有者ニ損害ガ生ズルト云フコトヲ防グト云フ譯ニハ參ラナイ、ソレ故ニ遂ニ此第二項ヲ置クト云フコトニ致シマシタ、併シ之ニ付テ最モ諸君ノ御注意ヲ請ヒタイコトハ、此條ハ初メ政府委員ヨリ説明モアリマシタ通り工場財團ヲ作ツタ場合ニ適用セラレル規定デアナイノデアリマス、單獨ニ土地又ハ建物ヲ抵當トシタ其抵當權ノ效力ガ機械、器具等ニ及ブト云フ、其場合ニ於ケル抵當權ノ效力ヲ定メタモノデアリマス、ソレ故ニ此場合ニ於テハ左マデ抵當權ノ保護ヲ極端ニマデ全ウスル必要ハナカラウ、之ニ反シテ工場財團ヲ作ツタ場合ニハ此中ノ一部分ヲ處分スレバ初ヨリ抵當權ノ目的トナツタモノヲ減スノデアリマスカラ、擔保ノ效力ヲ完ウスル爲ニ寧ろ財團ノ中テ占有者ノ利益ヲ犧牲ニ供スル方ガ至當ト考ヘタノデアリマス、是ニ付テモ餘ホド利害ノ判斷ニ惑フタノデアリマスケレドモ、既ニ第十二條ニ於キマシテハ本條第二項ノ如キ規定ヲ置カナイコトニ致シタ、ソレ故ニ財團ノ上ニ抵當權ヲ設定シタ場合ニハ第三取得者ハ縱令抵當權者ヨリ其モノヲ、取得シタ物ヲ取上ゲラレテモ致シ方ガ無イ、唯工場ノ所有者ニ對シテ損害賠

債ノ請求權ヲ有スルコトニナルデアリマス、是ハ第三取得者ニ取テハ如何ニモ酷ニ感ズル場合ガアリマスルケレドモ、ドウシテモ双方ノ利益ヲ調和スルコトハ出來ナイデアリマスルカラ、折角斯ノ如キ法律ヲ設ケタ以上ハ、抵當權者ノ利益ヲ保護スル方ガ至當デアラウト云フ考テ遂ニ第五條ニ違フタ仕組ニスルコトニ決シテデアリマス、其解釋ニナルデアラウト云フコトハ第五條ニ置イタヤウナ第二項ノ規定ガ無い、ソレカラ第四十九條ノ第二項ヲ削リ積リデアリマス、即チ財團ニ屬スルモノヲ處分シタモノニ適用スベキ罰則ガ無クナル、サウシテ單ニ四十九條ノ第一項ニ於テ第五條ニ掲ゲタルモノヲ處分シタ場合ノミニ適用スベキ罰則ヲ掲ゲル譯デアリマス、ソレデアリマスルカラ自ラ財團ガ抵當權ノ目的トナツタ場合ニハ第五條第二項ノ如キ結果ニナラナイト云フデアリマス、斯ノ如クニ財團ガ抵當トナツタ場合ニハ第三取得者ノ利益ヲ犧牲ニ供スルコト云フコトニ致シタデアリマスガ、如何ニモ忍ビザルコトヲ忍ンダデアリマスルカラ我々ハ充分政府委員ニ希望ヲ表シテ置イタデアリマス、即チ後ニ此法律ノ施行細則ヲ定メラレルニ當テハ登記ノ仕方、或ハ抵當權ノ目的トナルベキ物ノ示シ方等ニ付テ爲シ得ルケケノ制限方法ヲ設ケテ抵當權ノ爲ニ不測ノ損害ヲ蒙ルモノ無キヤウニシテ欲シト云フ意見ヲ述ベタデアリマス、ソレハ政府委員ニ於テモ爲シ得ルケケノ途ヲ講シヤウト云フコトデアリマス、次ハ第八條ニ二ツノ修正ヲ加ヘマシタ、第一ハ第一項ニ少シ文字ヲ附加ヘマシタ、數箇ノ工場カ各別ノ所有者ニ屬スルトキ亦同シ、即チ數人ノ者ガ別々ニ工場ヲ所有シテ居ルト云フ場合ニ、ソレ等ノ者ガ共同シテ一ノ工場財團ヲ作テ之ヲ抵當權ノ目的トナスコトニスルコトガ出來レバ甚ダ便利デアラウト云フ考デアリマス、原文テモ其解釋ニナルカモ知レマセヌガ餘ホド疑ハシイト存シマシテ是ダケノコトヲ書加ヘルコトニ致シタデアリマス、ソレカラ第二項トシテ「工場財團ハ、抵當權ノ消滅ニ因リテ消滅ス」ト云フ一項ヲ置クコトニ致シマシタ、是ハ此項ガ無クトモ第四十八條ノ規定ヨリシテ間接ニ分ルコトデアリマカガ少シ明瞭デナイ、工場財團ト云フモノハ單ニ抵當權ノ目的ノ爲ニ存在スルモノトスル立法ノ精神デアリマスルガ故ニ其主意ヲ明瞭ニスルニ必要デアラウ、既ニ鐵道抵當ニモ同様ノ規定ガアリマスニ依テ斯ノ如キ一項ヲ置クコトニ致シタデアリマス、ソレカラ第十條ニアル「一箇月」ヲ「二箇月」ト致シマシタ、是ハ一箇月デハ餘リ短キニ失スルデアラウト云フ主意ニ過ギナイデアリマス、工場財團ヲ抵當ニ入レルト云フコトニ付テハ固ヨリ保存登記ノ前ニ株主總會ヲ開クト云フコトヲ云フデアラウト思ヒマスケレドモ、尙此事ニ關シテハ一度ナラズ總會ヲ開クト云フコトハ必要ナ場合モアラウト思ヒマスカラ、今少シ期間ヲ長クシタ方ガ宜カラウト云フ考デアリマス、ソレカラ第十一條ノ一「工場ニ屬スル土地及工作物」ト致シテ第二「土地及」三字ヲ削ルコトニ致シマシタ、是ハ唯條文ヲ簡明ニシタニ過ギマセヌ、第二號「船舶、牛馬」ヲ削リマシタノモ例示法デアル以上ハ斯ノ如ク多クノ物ヲ列ベル必要ハ無イト云フ考ニ過ギマセヌ、第四「土地及水ノ使用權」ト云フモノヲ削リマシタ、此點ニ付テハ十分ニ諸君ノ御考ヲ煩シタ、土地又ハ水ノ使用權ト云フモノハ最も多クノ場合ニ於テハ、地役權デアラウト考ヘルデアリマス、地役權デアレバ第十條ニ規定シテアル、此所ニ改メテ書ク必要ハ無イデアリマス、唯行政法規ニ於テ特殊ノ使用ヲ認メタ場合ガ無イカト云フコトガ一つノ疑問デアリマス、原案モ多分、主トシテ其場合ヲ云フ積リデアッタデアリマセウ、最も疑

ハシキ場合ハ例ヘバ河川法ノ第十八條ニ規定セル場合ノ如クデアラウト思ヒマス、併シ是ハ純然タル權利デナイト云フ說モアルカラ非デ、一ノ權利トシテ認メルト云フコトニ付テハ餘ホド疑ガ存シテ居ルデアアル、又政府委員カラ聞ク所ニ依レバ此權利ノ如キハ一身ニ專屬スル權利デアッテ相續人ニ移ル權利デナイト云フヤウナ説明モアリマシタ、果シテ然ラバ純然タル權利トシテ之ヲ認メルト云フコトハ甚ダ不安心ニ思フデアリマス、鐵道抵當法ヲ見マシテモ「用水ニ關スル工作物及其ノ敷地並之ニ屬スル器具機械」トソレカラ「地役權」ト、水ニ關シテハ此二ツシカ掲ゲテナイ、果シテ然ラバ其第一ノモノハ有體物デアリマシテ此條ノ第一及ビ第二ニ這入ルデアリマス、水ノ使用權ノ方ハ鐵道抵當法ニ於テモ改メテ第五號ノ地役權ニ這入ルヨリ外仕方ガナイト思ヒマス、果シテ然ラバ此法律案ニ於テハ地役權ハ第十六條ニ規定シテアリマスガ故ニ、之ヲ削リテ鐵道抵當法ト内容ヲ異ニスルト云フコトニナラヌト考ヘマス、旁、以テ此一號ハ削ルコトニ致シマシタ、ソレカラ第十三條ノ「他人ニ屬スル物權若ハ貸借」トアリマスノヲ「他人ノ權利」ト改メマシタ、是ハ殆ド文字ノ修正ニ過ギマセヌ、物權ト貸借ト列ベルト云フコトハ如何ニモ體裁ガ惡イト考ヘタデアリマス、權利ト法律行爲ト列ベルト云フコトハ如何ニモ面白クナイ、第二項ニ於テ「所有權以外ノ物權、貸借」トアルノヲ「所有權以外ノ權利」ト致シタモ同一ノ趣意デアリマス、此後ニ數箇條ノ修正ガアリマス、皆ナ同理由ニ基クモノデアリマス、第二項ノ終ニ「一ノ重要ナル修正ヲ加ヘマシタ、但シ抵當權者ノ同意ヲ得テ貸借ヲ爲スハ此ノ限ニ在ラス」是ハ或ル場合ニ於テハ工場財團ニ屬スルモノヲ利殖スルコトニナルデアリマス、故ニ甚ダ重要ヲ必要デアラウト思フ、而シテ抵當權者ノ同意アル以上ハ少シモ弊害ナキコトデアラウト思ヒマス、ソレ故ニ此同意ト云フ制限ヲ以テ貸借ヲ認メルコトニ致シタデアリマス、第十四條第二項ハ「物權ノ目的又ハ貸借」トアルヲ「權利」ト致シタ、所以ハ前ニ申シタ通りデアリマス、唯文字ノ修正ニ過ギヌデアリマス、「但シ抵當權者ノ同意ヲ得テ之ヲ貸借スルハ此ノ限ニ在ラス」ト云フ但書ヲ置クコトニ致シマシタ、是モ實質上ノ一大修正デアリマシテ、其理由ハ第十三條第二項ニ付テ申上ゲタ所ト相異ルコトデアリマセヌ、此場合ニ於テハ殊ニ有要デアラウト考ヘタデアリマス、先日委員會ニ於テ小松原君デアリマシタカ、纒々御述ベニナリマシタ通り財團ガ手腕ノ足ラナイ人ニ依テ管理セラレテ居ル爲ニ十分ニ利益ヲ生ジナイ、生ジ得ルケケノ利益ヲ生ジナイ、斯ル場合ニハ第一ニ抵當權者ガ損害ヲ蒙ル、第二ニ工場ノ所有者モ損害ヲ蒙ル譯デアル、尤モ工場ノ所有者ハ巨額ノ負債ヲ爲シテ居レバ痛痒ヲ感ジナイ、自暴自棄デ自分ヨリ進ンデ利殖ノ途ヲ圖ラナイカモ知レマセヌガ、抵當權者ニ取ッテハ斯ル場合ニハ甚ダシイ迷惑デアリマス、競賣トカニ云フヤウナ事ハ素ヨリ最後ノ手段デ、成ルベク病ニ罹ルヨリモ病ニ罹ラヌ中ニ豫防スル方ガ宜イト云フ理窟デ、成ルベクハ競賣ナドハセズニ濟ムヤウニシタ方ガ宜イデアリマス、ソレ故ニ此場合ニ於キマシテモ、抵當權者ノ同意ガアレバ少シモ差支ナイコトデアリマス、依テ貸借ヲ許スコトニ致シタ譯デアリマス、第二十三條ニ於キマシテ「職權ヲ以テ」ト上ニ「登記官吏ハ」ノ五字ヲ加ヘマシタ、是ハ登記官吏ニ違ヒナイト誰モ解スルデアリマスガ、主客ガ隠レテ居ッテ如何ニモ體裁ガ惡イト認メタダケノコトデアリマス、第二十四條ノ「前條ノ場合ニ於テ」ト下ニ「登記官吏」ノ四字ヲ加ヘタノモ同様ノコトデアリマス、其行ノ終リニ「動産ニ付物權若ハ貸借ニ

因ル」トアリマスノ「動産ニ付」ト致シマシタノハ前キニ申上ゲタ第十三條ニ於テ「物權若ハ貸借」トアルヲ「權利」ト改メマシタ筆鋒ニ倣フタニ過ギマセヌ、此條第一項ニ但書ヲ加ヘルコトニ致シマシタ「但シ其ノ期間ハ一箇月以上三箇月以下トス」、原文ニハ單ニ一定ノ期間内トナテ登記官吏ハ五日ト極メルコトモ出來ル、一年ト極メルコトモ出來ル、少シ極端デハアリマスケレドモ、最長期モ最短期モ極メテナイガ爲ニ、同ジヤウナ場合ニモ實例ハ區々ニナルデアラウト思ヒマシテ、公平ヲ得ル爲ニ斯ノ如ク最長最短期ノ兩期ヲ法律ニ一定スルト云フコトニシタ方ガ穩カデアラウト云フコトヲ考ヘタノデアリマス、斯ノ如キ例ハ民法ナドニモ多少アルト考ヘマス、第二十五條第一項ノ「物權又ハ貸借ニ因ル」ヲ「其ノ」ト致シマシタノハ前ノ文例ニ倣フタニ過ギマセヌ、第二十七條第一號ノ「他人ニ屬スル物權若ハ貸借權」トアルヲ「他人ノ權利」ト致シタノモ同一デアリマス、此場合ハ權利ト法律行爲ト竝ニテ居ルノデアリマセヌ、物權ト貸借權ト竝ニテ居ルノデアリマセヌケレドモ既ニ登記簿ニ依テ茲ニ書イテアル事柄ガ目的タルコトガ明白デアルト云フ以上ハ、自カラ物權若ハ登記シタル貸借權ニ限ルト云フコトハ分リ切タコトデアリマス、果シテ然ラバ他人ノ權利ト云フテ差支ナイコトデアル、却テ其方ガ正シイト考ヘタノデアリマス、同條第三號「動産ニ關シ物權若ハ貸借ニ因ル權利」トアルノ「動産ニ付」ト改メマシタノモ前ノ文例ニ出デタニ過ギマセヌ、第二十八條ノ場合ニ「登記官吏カ」ト入レマシタノモ唯體裁上ノ理由ニ出デタノデアリマス、第二十九條ノ「物權若ハ貸借」ヲ「權利」ト致シマシタノモ更ニ説明ヲ要スルコトテナイト思ヒマシタ、第三十二條第一項モ同様、第三十四條及第三十七條ノ初ニ「登記官吏カ」ト云フ五字ヲ加ヘマシタノモ前ニ申シタノト同一ノ理由デアリマス、第二十八條第二項ニアル「承諾書」ヲ「同意書」ト改メマシタノハ第六條、第十三條、第十四條等ニ於テハ、何時モ同意ト云フテアル、ソレ故ニコ、モ「同意書」ト云フタ方ガ穩當デアラウト云フタケノコトデアリマス、「又ハ之ニ對抗スルコトヲ得ヘキ」ヲ「之ニ代ルヘキ」ト改メマシタ、是モ文字ノ修正ニ過ギマセヌ、「同意書又ハ之ニ」ト云ヘバ「之」ト云フ言葉ハ同意書ヲ受ケルガ穩カデアラウト思フ、然ルニ原文ニ依レバ「抵當權者」ト受ケルコトニナラデ居ル、サウシテ「抵當權者」ト對抗スルコトヲ得ベキ裁判ト云フ言葉ハ不動産登記法ニハ用井デアリマスカ少シ明瞭デナイ、抵當權者ガ不當ニ同意ヲ拒ンダ場合ニ同意書ガ代ノデアル、同意ト同一ノ效力ヲ有スル裁判ヲ言フノデアリマスカラ寧ロ「之ニ代ルヘキ」トシタ方ガ明瞭デアラウト考ヘタノデアリマス、ソレカラ第四十一條ニ於キマシテ二箇所「消滅」ヲ「滅失」ト斯ウ改メマシタ、第四十四條ニモ一箇所アリマス、是ハ消滅ト書イテモ面白クモナシ、又滅失ト書イテモ面白クナイノデアリマス、「モノ」トアル所ハ有體物モ權利モ含ンデ居ルノデアル、民法其他ノ法令ノ用例ニ從ヘバ權利ハ消滅ト云ヒ、有體物ハ滅失ト云フコトニナラデ居リマス、ソレ故ニ兩方ノモノニ通ジタ言葉トシテハ滅失又ハ消滅ト云フヨリ外ハナイノデアリマス、併ナガラソレモ諄イ、而シテ工場財團ヲ組成スルモノハ權利ハ少ナクシテ有體物ガ多イノデスカラ、寧ロ有體物ヲ眼中ニ置イテソレニ通ズル言葉即チ「滅失」ト云フコトニシタ方ガ穩カデアラウト云フタケノコトデアリマス、是ナドハ何レデモ宜シイカト思ヒマス、ソレカラ第四十六條ノ「利害關係人」ヲ「抵當權者」ト改メマシタ、是ハ實質上可ナリ大キナ修正デアラウト思ヒマス、原案ニ依レバ單ニ「利害關係人」トアリマスカラ是ハ利害關係人殘ラズト云フコ

トデハ無カラウ、即チ如何ナル利害關係人ト雖モ本條ニ定メタル申立ヲナスコトガ出來ル、而シテ其場合ニハ裁判所ハ工場財團ヲ個々ノモノトシテ競賣又ハ入札ニ付スベキ旨ヲ命ズルコトガ出來ルノデアリマス、然ルニ此條ニ規定シタル裁判所ノ權力ト云フモノハ實ニ強大ナルモノデアラテ非常ナリ異例デアラウト思フ、工場財團ノ抵當權ノ目的トナツタモノヲ、ソレヲ崩シテバラクニ競賣ニ付スルト云フコトハ初ヨリ當事者ガ考ヘタ所ニ違反スルコトデアラデ、斯ノ如キコトヲ濫用セラレルヤウナコトガアツデハ餘ホド困ララウト思フノデアリマス、ソレ故ニ成ルベク狹メタイ、成ルベク狹メテ工場ノ所有者ガ言フテ出アモイケナイ、又普通ノ債權者ガ言フテ出アモイケナイ、サウ云フ利害關係人ノ申立ハ斥ケテ單ニ抵當權者ノ申立ヲナケレバナラヌ、而シテ抵當權者ガ數人アレバ例ヘバ一番抵當、二番抵當、三番抵當ト云フヤウニ幾人モアレバ其全員ノ申立ヲ必要トスル、別ニ全員ト書カケレバ全員トナルデアラウト思ヒマス、現ニ鐵道抵當法第七十條ニハ丁度本條ト對等スル場合ニ就テ抵當權者ト言フテアル、而シテ政府委員ノ説明ヲ聞ケバ、抵當權者ガ數人アル場合ニハ其全員ヲ言フ主意デアルトハ勿論デアルト云フ説明デアリマシタ、次ニ第四十九條第一項ノ文字ヲ少シ改メマシタ、第一行ノ終リカラ變ルノデアリマス「權限ヲ有スル者カ讓渡又ハ質入ノ目的ヲ以テ」第二條ノ規定ニ依リ抵當權ノ目的タル物ヲ第三者ニ引渡シ又ハ引渡サシメタルトキハ云々、是ハ原文ト殆ド實質ガ變ルコトデアリマセヌガ、原文ニ質入ノ場合ガ除カレテ居マス、是ハ讓渡ノ場合ト少シモ區別スベキモノテナイト思ヒマスカラ質入ノ場合ヲ加ヘルコトニシタノデアリマス、ソレカラ第二項ヲ削ルトニ致シマシタ、是ハ先刻第五條ノ修正ヲ説明イタシマシタ時ニ申上ゲマシタ通り、工場財團ニ屬スルモノヲ處分シタ場合ニハ常ニ抵當權者ヲ保護スルト云フ主義ヲ採ツタ結果デアリマス、抵當權者ガ如何ナル場合ニ於テモ損害ヲ被ラナイト云フコトデアル以上ハ、抵當權者ニ損害ヲ被ラシムル目的トシテ爲シタ行爲ヲ罰スル必要ハ無イ譯デアリマス、本條ノ主意ハ抵當權者ヲ害スル行爲ヲ、間接ニ其事ノ生ズルコトヲ豫防シヤウト云フ主意デアルト解スルノデアリマス、果シテ然ラバ此項ハ寧ロ削除シタガ至當デアラウト云フ考デアリマス、又第三項ノ「本條」ヲ「前項」ト改メタイト思ヒマス、ソレカラ第五十條「毀壞」ト云フコトガ二箇所アリマスカ、之ヲ「毀損」ト致シタイ、「毀壞」ト云フト壞シテ仕舞フト云フ言葉デアリマスルガ、壞サナクテモ此條ニ依テ罰シテ宜イ所爲ガ澤山アラウト思ヒマス、大切ノ書物一面ニ墨ヲ塗ツテ仕舞フタカ云フヤウナ場合ガアラウト思フ、尤モ「毀損」ト書ケバマルデ壞シタト云フ場合ハ漏レルカモ知レナイガ、併シ此場合ハ罰スル方カラハ、小ハ大ヲ兼ネルト云フ方ノ見方ガ宜イノデアラウト思フ、無論「毀損」ト云フテ置ケバ「毀壞」ハ含ムト云フコトニナルト思ヒマス、或ハ毀、損ト別ケテ讀メバ毀ノ方ハヒドイ所マデイカカモ知レナイ、兎ニ角毀損ノ方ガ宜カラウト云フ考デアリマス、ソレカラ「他人」ヲシテ「ト云フ」ハ無益デアラウト思フ、ソレデ之ヲ削リマシタ、修正ノ點ハ以上述べタケデアリマス、尙御分リニクイ所ガアレバ十分ニ御質シテ願ヒマス、尙足ラヌ所ガアレバ十分ニ御加ヘテ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(子爵岡部長職君) 諸君、先刻來小委員ノ御一人タル所ノ富井君カラシテ審査ノ結果ヲ御報告ニナリマシタ、二君ノ昨日來ノ非常ナル御勉強ヲ以テ斯ク精密ナル審査ヲ遂ゲラレマシタコトニ對シマシテ我々ハ誠ニ二君ニ向ッテ謝スル所デアリマス諸

君ニモ此修正ニ付テ別ニ御質問ガ無イ様デアリマスカラ、是ヨリ逐條討議ニ移ルノデア
リマスカ、大體ニ於テハ無論諸君ニ於カレテモ御異議ナイコトト認メテ逐條議ニ移ラウト
考ヘマス、御異存ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵岡部長職君) 然ラバ逐條議ニ移リマスガ、既ニ諸君カラ御質問モ無
イ位デアリマスカラ、全部ヲ一括シテ問題ニ供シテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵岡部長職君) 然ラバ全部ヲ一括シテ問題ニ供シマス、小委員ノ修正
ノ通り全部可決ト認メテ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵岡部長職君) 然ラバ可決ト認メマス、是デ一讀會ガ終リマシテゴザイ
マスカラ二讀會マテ引續イテ決了シタモノト認メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(子爵岡部長職君) 然ラバ是デ議決イタシマシタ
午後二時一分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵岡部 長職君

委員

子爵新莊 直陳君

小松原英太郎君

男爵藤大路親春君

穂積 八束君

國務大臣

司法大臣 波多野敬直君

政府委員

司法次官 石渡 敏一君

農商務省 森田 茂吉君
商工局長

司法省民刑局長 河村讓三郎君

名村 泰藏君

山脇 玄君

馬屋原 彰君

富井 政章君

平山 成信君

男爵吉川 重吉君

富井 政章君

富井 政章君